

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	233・日科	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 730 道徳 830 道徳 930	道徳 中学校1 生き方から学ぶ 道徳 中学校2 生き方を見つめる 道徳 中学校3 生き方を創造する
取扱内容 〔学習指導要領の道徳〕及び 目標、内容等 〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生命の尊厳について 第1学年では、先祖から子孫へ受け渡していく生命の連続性について感じたことはどのようなことか、自分の生命、他の人の生命について感じたことはどのようなことかを考える活動等、第2学年では、生命とはどのようなものか、生命の尊厳を守るためにはどのように考えていけばよいかを考える活動等、第3学年では、命とはどのようなものか、生命の尊厳を守るためにはどのように考えていけばよいかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。 ○ 自然について 第1学年では、環境の保全のためにできることはどのようなことかを考える活動等、第2学年では、地球の未来のためにできることはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、自分がこれまで出会った自然の美にはどのようなものがあるかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。 ○ 伝統と文化について 第1学年では、家族や地域の方の郷土への思いはどのようなものかを考える活動等、第2学年では、地域の伝統行事にはどのような意味があるのかを考える活動等、第3学年では、身の回りのもので長く受け継がれてきた日本人の技や知恵にはどのようなものがあるかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。 ○ 情報化への対応について 第1学年では、スマートフォンを扱い、インターネット上ではどのようなコミュニケーションが望ましいかを話し合う活動等、第2学年では、インターネットを扱い、コミュニケーションをとる上でどのような配慮が必要かを話し合う活動等、第3学年では、インターネットを扱い、コミュニケーションをとるときに大切なことはどのようなことかを話し合う活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。 			
内容の構成・排列、分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列 言語活動については、「考え、話し合ってみよう」として、深めよう」を配置し、問題解決的な学習については、「考え、話し合ってみよう」として、深めよう」を配置し、体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習を用いた教材を配置するなど、生徒が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。 ○ 内容の分量※ 第1学年～Aは6教材、Bは8教材、Cは17教材、Dは6教材、Eは15教材、全体で52教材あり、総ページ数は192ページとなっている。 第2学年～Aは7教材、Bは8教材、Cは15教材、Dは7教材、Eは17教材、全体で54教材あり、総ページ数は192ページとなっている。 第3学年～Aは7教材、Bは7教材、Cは15教材、Dは8教材、Eは13教材、全体で50教材あり、総ページ数は192ページとなっている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、「〇年生の心の成長を振り返りましょう」「〇年生の道徳の時間を振り返りましょう」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒が自らを振り返るための工夫がなされている。 ○ 各学年に、学校と家庭、地域社会をつなぐ「心の成長を目指して」を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。 ○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道と関連のある教材は「コンスタンチン君 命のリレー」など3箇所取り上げられている。 ○ いじめ問題については、友達とよい関係を築くにはどのようにしたらよいかを考える活動等を取り上げている。 			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関する事」、Bは「主として人との関わりに関する事」、Cは「主として集団や社会との関わりに関する事」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。